

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2020年1月～3月期実績、2020年4月～6月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体のすべて指標が4期連続で低下
















今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△38.2、採算D Iが△36.5、資金繰りD Iが△27.7となり、対前期比でそれぞれ、10.9ポイント、7.1ポイント、9.0ポイント減少し、すべての指標で低下した。産業別では、製造業の各D Iで低下が目立つ結果となった。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD I、すべての指標とも低下する見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △38.2（対前期比 △10.9低下） 次期予想 △40.6（対前期比 △2.4低下）
- ・採算D I △36.5（対前期比 △7.1低下） 次期予想 △39.4（対前期比 △2.9低下）
- ・資金繰りD I △27.7（対前期比 △9.0低下） 次期予想 △31.6（対前期比 △3.9低下）

産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年4月～6月		△16.1 ↓		△22.3 ↓		△15.7 ↓
2019年7月～9月		△20.9 ↓		△25.3 ↓		△17.0 ↓
2019年10月～12月		△27.3 ↓		△29.4 ↓		△18.7 ↓
2020年1月～3月		△38.2 ↓		△36.5 ↓		△27.7 ↓
2020年4月～6月 （見通し）		△40.6 ↓		△39.4 ↓		△31.6 ↓

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上額D I が悪化、採算D I が低下































製造業では、売上額D Iが△61.8ポイントで対前期比33.2ポイント悪化した。採算D Iは△41.2ポイントで対前期比5.9ポイント低下し、資金繰りD Iは△26.5ポイントで対前期比横ばいであった。

次期は、売上D I、採算D I、資金繰りD Iとも悪化の見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △61.8 (対前期比 △33.2 悪化) 次期予想 △66.7 (対前期比 △4.9 低下)
- ・採算D I △41.2 (対前期比 △5.9 低下) 次期予想 △52.9 (対前期比 △11.7 悪化)
- ・資金繰りD I △26.5 (対前期比 0.0 横這) 次期予想 △51.5 (対前期比 △25.0 悪化)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年4月～6月		△25.8 		△32.3 		△20.6 
2019年7月～9月		△28.6 		△32.4 		△15.2 
2019年10月～12月		△28.6 		△35.3 		△26.5 
2020年1月～3月		△61.8 		△41.2 		△26.5 
2020年4月～6月 (見通し)		△66.7 		△52.9 		△51.5 

(2) 建設業

建設業は売上額D Iが低下、資金繰りD Iが悪化































建設業では、売上額D Iが△26.9ポイントで対前期比19.2ポイント低下したが、採算D Iは△12.0ポイントで対前期比横ばい、資金繰りD Iが△30.8ポイントで対前期比19.3ポイント悪化した。

次期は、売上額D Iが小幅に低下し、採算D Iは悪化し、資金繰りD Iは好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △26.9 (対前期比 △19.2 低下) 次期予想 △27.0 (対前期比 △0.1 低下)
- ・採算D I △12.0 (対前期比 0.0 横這) 次期予想 △33.3 (対前期比 △21.3 悪化)
- ・資金繰りD I △30.8 (対前期比 △19.3 悪化) 次期予想 △23.1 (対前期比 7.7 好転)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年4月～6月		11.5 		△11.5 		△15.4 
2019年7月～9月		0.0 		△20.0 		△20.0 
2019年10月～12月		△7.7 		△12.0 		△11.5 
2020年1月～3月		△26.9 		△12.0 		△30.8 
2020年4月～6月 (見通し)		△27.0 		△33.3 		△23.1 

(3) 小売業

小売業では売上額D I 低下、資金繰りD I が悪化

小売業では、売上額D I が△44.8ポイントで対前期比12.2ポイント低下し、採算D I が△37.5ポイントで対前期比2.1ポイント好転した。





































資金繰りD I は、△25.6ポイントで対前期比8.9ポイント悪化した。

次期は、売上額D I と採算D I が好転し、資金繰りD I で低下する見通しである。

主要3D I の対前年同期比推移

- ・売上額D I △44.8 (対前期比 △12.2 低下) 次期予想 △37.5 (対前期比 7.3 好転)
- ・採算D I △37.5 (対前期比 2.1 好転) 次期予想 △36.2 (対前期比 1.3 好転)
- ・資金繰りD I △25.6 (対前期比 △8.9 悪化) 次期予想 △31.2 (対前期比 △5.6 低下)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年1月～3月		△14.9 		△34.0 		△17.4 
2019年4月～6月		△27.1 		△29.2 		△18.7 
2019年7月～9月		△27.0 		△29.2 		△18.7 
2019年10月～12月		△32.6 		△39.6 		△16.7 
2020年1月～3月		△44.8 		△37.5 		△25.6 
2020年4月～6月 (見通し)		△37.5 		△36.2 		△31.2 

(4) サービス業

サービス業は採算D I と資金繰りD I が低下































サービス業では、売上額D I が $\Delta 26.8$ ポイントで対前期比 3.6 ポイント好転した。
採算D I は $\Delta 42.3$ ポイントで対前期比 16.6 ポイント低下し、7期連続してマイナス幅が拡大、資金繰りD I は $\Delta 28.6$ ポイントで対前期比 9.8 ポイント低下し、5期連続してマイナス幅が拡大した。

次期は、採算D I、資金繰りD I とも、好転する見通しである。

主要3D I の対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 26.8$ (対前期比 3.6 好転) 次期予想 $\Delta 35.8$ (対前期比 $\Delta 9.0$ 悪化)
- ・採算D I $\Delta 42.3$ (対前期比 $\Delta 16.6$ 低下) 次期予想 $\Delta 37.1$ (対前期比 5.2 好転)
- ・資金繰りD I $\Delta 28.6$ (対前期比 $\Delta 9.8$ 低下) 次期予想 $\Delta 25.4$ (対前期比 3.2 好転)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年4月～6月		$\Delta 14.1$ 		$\Delta 16.9$ 		$\Delta 11.5$ 
2019年7月～9月		$\Delta 20.6$ 		$\Delta 21.1$ 		$\Delta 15.8$ 
2019年10月～12月		$\Delta 30.4$ 		$\Delta 25.7$ 		$\Delta 18.8$ 
2020年1月～3月		$\Delta 26.8$ 		$\Delta 42.3$ 		$\Delta 28.6$ 
2019年4月～6月 (見通し)		$\Delta 35.8$ 		$\Delta 37.1$ 		$\Delta 25.4$ 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	11.8%	土地、工場建物 生産設備、OA機器 その他	14.7%	工場建物、生産設備 車両運搬具、OA機器
建設業	0%	—————	7.7%	建設機械、その他
小売業	20.8%	店舗、販売設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	8.3%	店舗、販売設備 車両運搬具、OA機器 その他
サービス業	8.6%	建物、サービス 車両運搬具、付帯設備、 OA機器、その他	5.6%	サービス、車両運搬具 付帯施設、OA機器

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	32.3%
	2位	製品ニーズの変化	12.9%
		生産設備の不足・老朽化	12.9%
		製品単価の低下、上昇難	12.9%
建設業	1位	材料価格の上昇	29.4%
	2位	請負単価の低下・上昇難	17.6%
		民間需要の停滞	17.6%
小売業	1位	消費者ニーズの変化	26.2%
	2位	需要の停滞	21.4%
	3位	販売単価の低下・上昇難	9.5%
		その他	9.5%
サービス業	1位	需要の停滞	18.2%
	2位	利用者ニーズの変化	14.5%
	3位	人件費の増加	12.7%
		材料等仕入単価の上昇	12.7%
		その他	12.7%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2020年1月から3月の第4四半期を対象とし、調査時点は2020年3月1日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業26企業、小売業48企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加（上昇、好転）企業割合から減少（低下、悪化）企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和2年4月15日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL：052-562-0041